

(11) 沖縄



沖縄地域では、景気は持ち直しの動きがみられる。

- ・ 観光は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は極めて厳しい状況にあるものの、下げ止まりつつある。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

前回調査からの主要変更点

	前回(平成23年8月)	今回(平成23年11月)	
景況判断	東日本大震災の影響が残るものの、持ち直しの動き	持ち直しの動き	
観光	東日本大震災の影響が残るものの、持ち直しの動き	持ち直しの動き	
個人消費	持ち直し	<u>おおむね横ばい</u>	
住宅建設	大幅に増加	減少	
雇用情勢	東日本大震災の影響により、極めて厳しい状況にあるものの、下げ止まりつつある	極めて厳しい状況にあるものの、下げ止まりつつある	

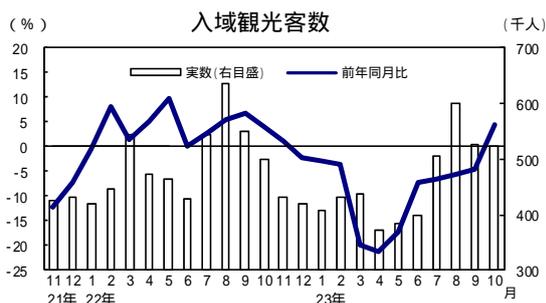
1. 観光及び企業動向

(1) 観光は持ち直しの動きがみられる。

入域観光客数のうち、国内客については、8月、9月は台風の影響等により前年同月実績を下回ったものの、減少幅は縮小した。10月は修学旅行の沖縄への振り替えや、団体旅行、個人旅行ともに好調に推移し、11か月ぶりに前年同月実績を上回った。

外国客については、10月は12~16日に開催された「第5回 世界のウチナーンチュ大会」の効果や上海路線の増便等により、前年同月実績を大幅に上回った。

主要ホテルの客室稼働率は、那覇市内ホテル、リゾートホテルともに前年同期を下回っているが、減少幅は縮小している。



入域観光客数等の動向

(単位: 千人、%)

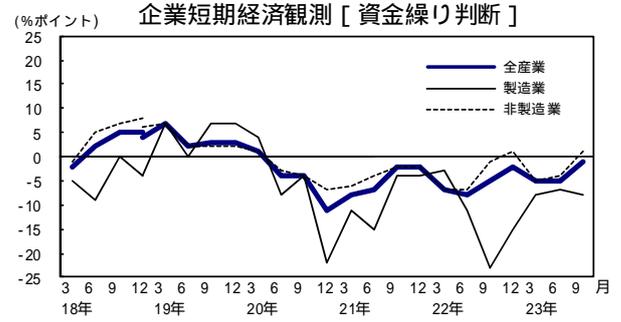
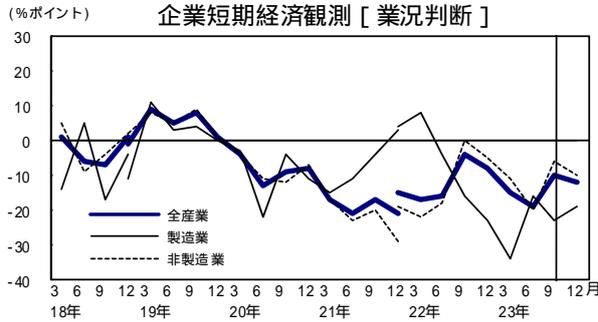
	23年1-3月	4-6月	7-9月	23年10月
入域観光客数	1,273	1,153	1,632	522
(前年比)	9.7	15.5	5.6	4.5
ホテル稼働率	65.3	55.0	78.0	-
(前年差)	6.1	10.6	2.9	-

(備考) 1. 入域観光客数は沖縄県観光政策課調べ。

2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

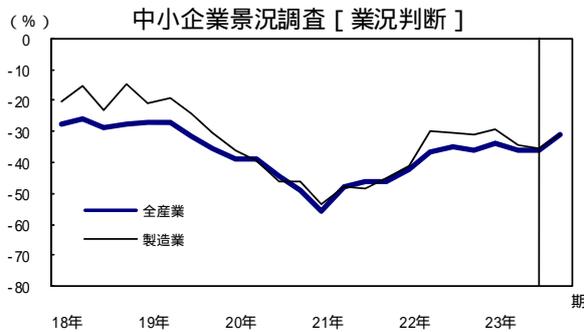
(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が、資金繰り判断は「苦しい」超幅がそれぞれ縮小している。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。23年12月は予測。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。23年 期は見通し。
九州(含む沖縄)地区のD I。

景気ウォッチャー調査(10月)[企業動向関連(現状)]

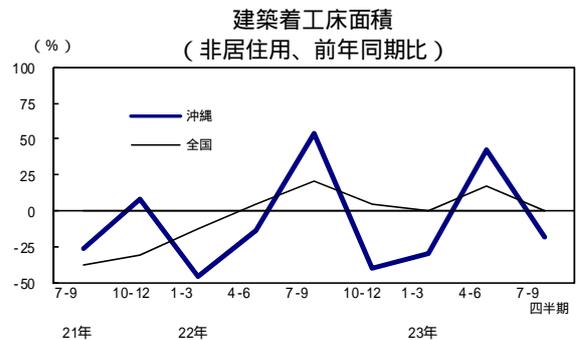
「国内観光も少しずつ回復しているが、客単価は伸びていない(会計事務所)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 23年度の設備投資は前年度を大幅に下回る計画となっている。

企業短期経済観測調査[設備投資(9月調査)]

	(前年度比、%)	
	22年度実績	23年度計画
全産業	16.7(1.5)	21.9(8.3)
製造業	38.7(29.5)	1.0(6.6)
非製造業	13.2(6.8)	24.5(8.6)

(備考)()は前回(6月)調査比修正率。石油・電力を除く。



2. 需要の動向

(1) 個人消費はおおむね横ばいとなっている。

百貨店販売額、スーパー売上高

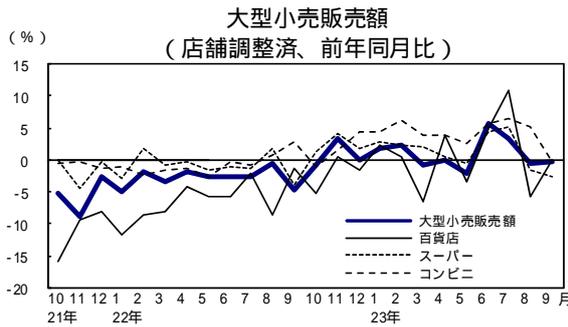
大型小売店販売額は、前年同期比で0.9%増、前期比で1.8%増となった。

百貨店は、7月は旧盆商戦の前倒しによる中元ギフトの伸長等により、前年を上回った。8月は台風の影響等により、前年を下回った。9月は大型催事の開催時期変更の影響等により、前年を下回った。

スーパーは、台風の影響や衣料品の減少等により、前年同期比増加幅は縮小した。

景気ウォッチャー調査(10月)[家計動向関連(現状)]

「今月の祭り、イベント等では売上の増加を期待したが、前年並みの売上にはなっていない。外国人客も多いが、円高の影響か、購入金額や購入者数は低い水準である(その他専門店[楽器])」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



	22年10-12月	23年1-3月	4-6月	7-9月
大型小売店(*1)	0.8	1.1	1.1	0.9
百貨店(*1)	1.9	1.2	1.8	2.0
スーパー(*1)	2.4	2.4	1.3	0.3
大型小売店(*2)	0.7	0.6	0.5	2.0
季節調整値(*3)	(0.5)	(0.6)	(1.1)	(1.8)
乗用車(*4)	30.5	24.7	33.4	19.8
季節調整値(*4)	(38.5)	(14.8)	(10.8)	(25.3)

(備考) 1. 大型小売店は経済産業省調べ(店舗調整済)、百貨店、スーパーは日本銀行那

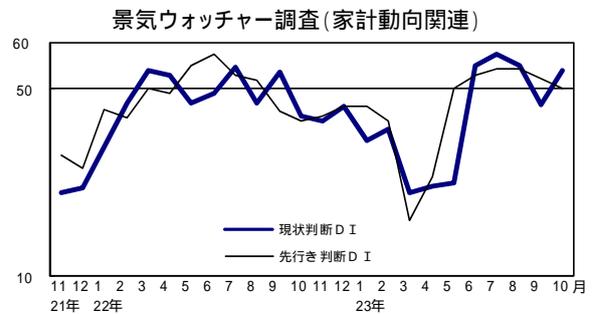
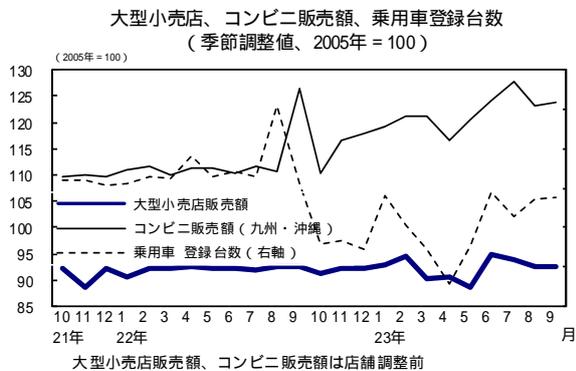
覇支店調べ(いずれも既存店) 前年同期比(%)

2. 店舗調整前、前年同期比(%)

3. 店舗調整前、前期比(%)

4. 乗用車は乗用車新規登録・届出台数。

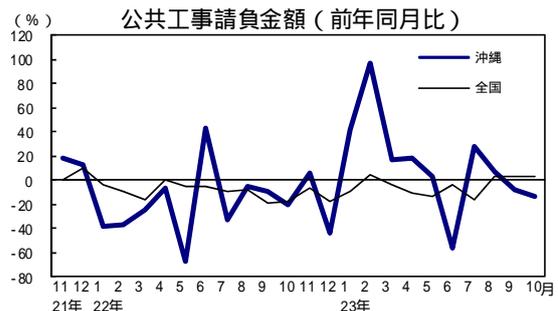
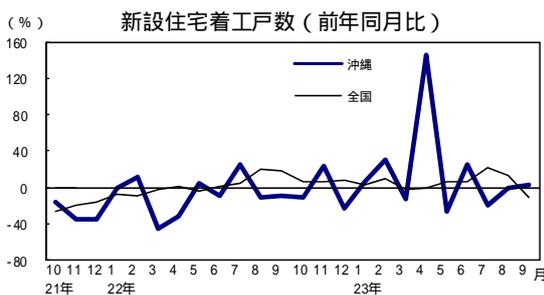
(上段：前年同期比、下段：前期比、%)



(2) 住宅建設は減少している。

貸家が前年を下回ったことから、全体でも減少している。

(3) 公共投資は23年度累計で見ると前年度を下回っている。

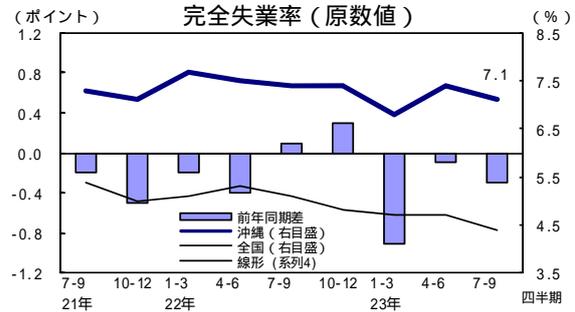
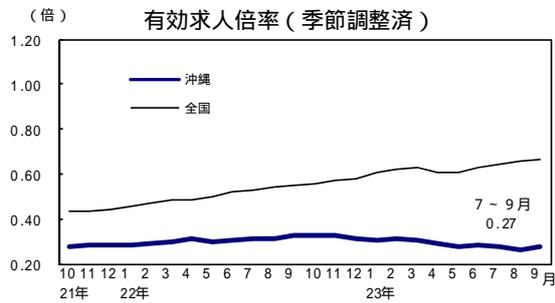


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は極めて厳しい状況にあるものの、下げ止まりつつある。

有効求人倍率及び完全失業率等

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。完全失業率は前年同期を下回っている。



(備考) 沖縄県の完全失業率は、沖縄県「労働力調査」より算出。

景気ウォッチャー調査 (10月)[雇用関連(現状)]

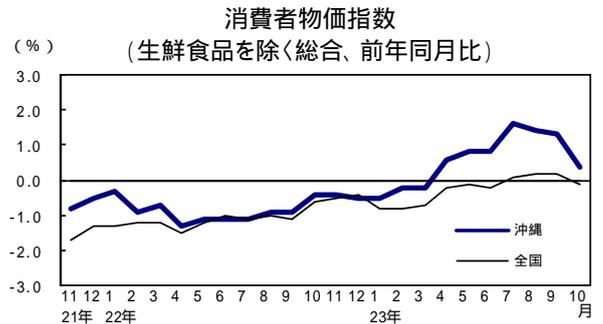
「新規、既存ユーザー双方から求人依頼が増えている。新規は学校関係、医療、コールセンター等多岐にわたり、長期の依頼が増えている(人材派遣会社)」など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに増加している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が拡大している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	22年10-12月	23年1-3月	4-6月	7-9月	23年10月
倒産件数	13	20	25	21	5
(前年比)	0.0	100.0	108.3	50.0	0.0
負債総額	20	21	31	104	3
(前年比)	56.4	2.5	138.2	83.3	56.9



景気ウォッチャー調査 (10月)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・例年並みの来客数であるが、平日は地元客が減って、観光客が少し増えている。低価格志向がずっと続いている(その他飲食[居酒屋])

<先行き>

- ・県内企業の一部は売上が多少上がってきた企業もあるが、その多くは収益率が厳しい状況にあるため、販売促進活動への積極的投資につながらない(広告代理店)

